

# 電動手押しカンナ盤 6 インチ TR-404EP 取扱説明書



このたびは電動手押しカンナ盤 6 インチをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を十分にお読みのうえ、正しい取扱方法によりご愛用くださるようお願い申し上げます。

## 1、はじめに

- この取扱説明書の内容が理解できるまでは、本製品をご使用にならないでください。
- 本製品は品質改良のため、仕様を変更することがございます。その際には、この取扱説明書の内容・イラストの一部が本製品と一致しない場合がありますので、ご了承願います。
- この取扱説明書の作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発覚していただちに修正できないことがあります。

## 2、商品の説明

- 電動手押しカンナ盤 6 インチは木工の切削作業に使用します。
- 軽量小型タイプなので持ち運びも可能です。
- 二重絶縁構造の専用単相モーターを採用しており、省エネ性と安全性に優れています。
- 高い精度の直角出し、平面出しはもちろん角度調整可能なガイドフェンスにより角度をつけた切削作業も行えます。
- 集塵機能により、切削くずを出さず作業場を清潔に保てます。

## 3、安全に使用していただくために

### ■ 注意事項の表示について

- 人体や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方の 誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の表示で区分し、説明しています。その表示と意味は、次のようになっています。
- 下記マークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。



### 警告

この表示を無視して誤った取りをすると、死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、ケガを負う可能性や物的損害がある内容を示しています。



### 警告

安全のため必ず守ってください

1. 仕事場はいつも清潔に保ってください。ちらかった場所や作業台での電動工具の使用は、事故が発生する原因となります。
2. 電動工具を使用する場合は、周囲の状況や手元がよく確認できる明るい場所で作業してください。視界の悪いところや十分な明かりのないところでの作業はしないでください。
3. 作業中は本製品や延長コードに触れないように、子供や作業員以外を作業場へ近づけないでください。
4. 常にしっかりとした足場でバランスをとり、滑りやすい不安定な場所での使用や無理な姿勢での作業はしないでください。
5. 雨が降っていたり、濡れたりした状況で使用しないでください。
6. 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

### ■ 注意事項の表示について

7. 病気の時やアルコール・薬などを服用している時、疲労、睡眠不足など自分の判断力が低下している状態での作業は絶対にしないでください。
8. 作業に適した防護服・保護メガネ・イヤープロテクション・防護マスク・安全グローブなどを必ず着用してください。
9. 使用前に損傷した部品がないか確認してください。
  - ・使用前には本製品が正常に作動するか必ず確認してください。
  - ・稼動部分の位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態など作業に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した部品の交換や修理は取扱説明書の指示に従い、当社に依頼してください。
10. 本製品は必ず木材または木製の素材のみに使用してください。
11. 本製品をさねはぎ接合部には使用しないでください。
12. 電源を入れる前に、準備作業に使用した調節キーや六角レンチなどの工具を取り外していることを確認してください。



## 警告 安全のため必ず守ってください

13. 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業し、無理な使用はしないでください。
14. 本製品を指定された用途以外には使用しないでください。
15. 大きすぎる衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
16. 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
17. 十分にメンテナンスを行ってください。
  - ・安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態に保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
18. 本体をしっかりとした台にボルトで固定してください。
19. 集塵装置に集塵ダクトと集塵袋を取付けてください。
20. 短い木材等を切削する際は、板送りサポートを使用してください。
21. さらに小さな木材等を切削する際は安全のため水平加圧装置やパネ付きガードの使用をお勧めします。
22. ブレードガードが正しい位置に調整されていない場合、本製品を使用しないでください。
23. 刃は常に研磨した状態に保ってください。刃先が磨耗したブレードを使用すると反動の危険が増します。
24. 切削に使われていないカンナ胴部分も保護してください。
25. ブレードが 95% 磨耗した場合は、規格に適合する新しいブレードに交換してください。

### ■ 電源、電気設備について

26. 使用電源は仕様にあった電圧か必ず確認してください。
27. 仕様と違った電圧で使うと回転異常となり、ケガや火災の原因になります。
28. 本製品は該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。修理に関しては当社に依頼してください。
29. 本体を組み立てるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
30. 電源プラグをコンセントに入れる差し込む前に、電源スイッチが切れていることを必ず確認してください。
31. 次の場合は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをぬいてください。
  - ・修理をするとき、または使用しないとき。
  - ・ブレード・ビット・砥石などの付属品を交換するとき。
  - ・その他、危険が予想されるとき。
32. コードを乱暴に扱わないでください。コードを持って本製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。
33. コードを熱・油・角のものがった場所に近づけないでください。
34. コードは定期的に点検し、損傷している場合は、当社まで修理を依頼してください。
36. 延長コードを使用する場合は、本体仕様に適合したものを使い定期的に点検し損傷している場合には交換してください。
37. 身体にアースやアースが接続されているものが接触しないようにしてください。

### ■ 保管について

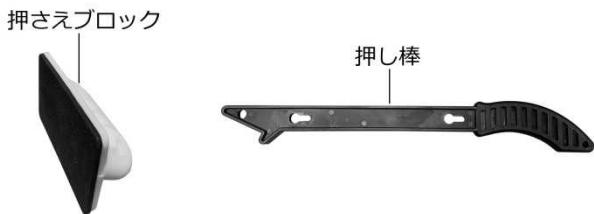
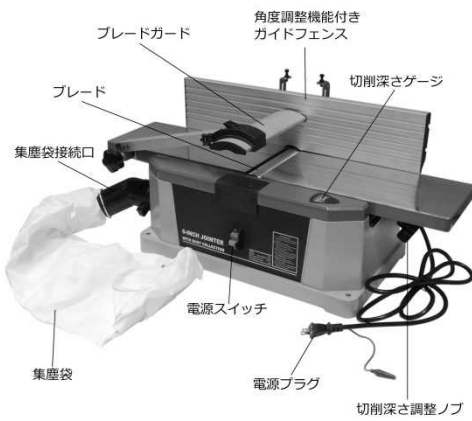
38. 使用しない場合は、鍵のかかる場所あるいは子供の手の届かない場所に保管してください。
39. 従来の使用目的以外の作業や改造などはしないでください。
40. 使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。
41. 何らかの問題が生じた場合は、直ちに使用を中止し当社にご相談ください。



## 注意 安全のため必ず守ってください

1. 付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 工具を使用する前、必ず刃先の点検を行ってください。刃先にひび割れまたは破損がある場合、速やかに交換してください。
3. 加工する材料に釘などの異物がないか確認してください。
4. 節の部分や研削する場合、刃が欠けたり反動により、ケガの原因になります。
5. 回転部に巻き込まれる恐れのある軍手などの手袋は使用しないでください。
6. 本体を作動させたまま、作業台の上などに放置しないでください。
7. 使用直後は刃が高温になっているので、触れないでください。

#### 4、各部の名称



※小さい対象物や細い対象物を切削する際は安全のために押さえブロックと押し棒を使用し切削してください。

#### 5、設置について

### ⚠ 注意 安全のため必ず守ってください

- 十分に明るく、正しい電源につなげられる場所に設置してください。
- 1. 切削の際に木片が飛散してもいいように、また作業員や作業員以外の人が木材に接触することのないよう十分な広さの作業場所を確保してください。
- 2. ボルト、止めワッシャなどを使用して、水平になるように本体を作業台に設置してください。
- 3. 固定後、ぐらつきがないかを確認してください。

#### 6、操作方法

##### ① 電源スイッチを入れる、切る

### ⚠ 警告 安全のため必ず守ってください

- 使用電源は仕様合った電圧か必ず確認してください。仕様と違った電圧で使うと回転異常となり、ケガの原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れていることを必ず確認してください。
- 作業に適した防護服・保護メガネ・イヤープロテクション防護マスク・安全グローブなどを必ず着用してください。
- 感電を防ぐために正しい方法でアースを接続してください。

電源スイッチを ON 側に押し上げれば電源が入ります。

OFF 側に下げれば電源が切れます。



真ん中のピンを抜くことでスイッチをロックすることができます。

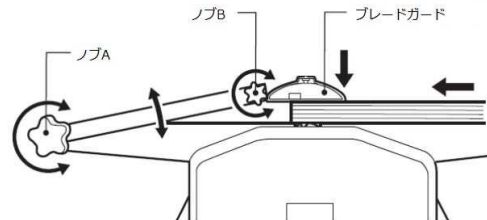
##### ② ブレードガードの調整

### ⚠ 警告 安全のため必ず守ってください

- ブレードガードの調整を行う場合は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
- ブレードガードが調整できない場合は、作業をしないでください。ブレードガードは、切削する面積が大きい場合は対象物を押さえ、切削する面積が小さい場合は切削用ブレードを覆い、手などを保護します。

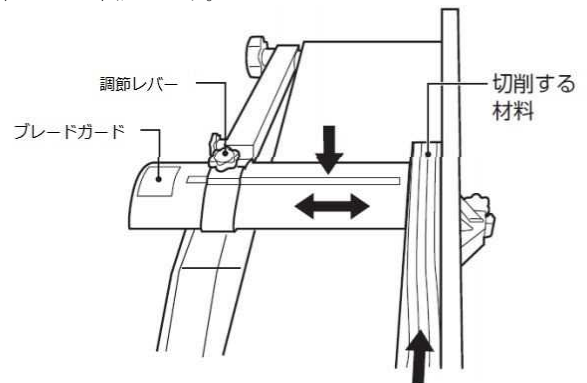
##### ■ 切削面積が広い場合

1. 本体左側にあるノブ A を動かし高さを調節します。
2. 対象物と平行になるように調節ノブ B を動かします。切削作業時は対象物を押さえるように使用します。



##### ■ 切削面積が小さい場合

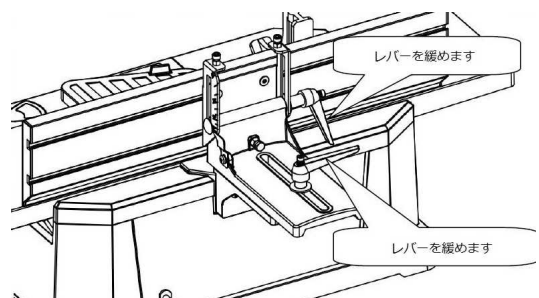
1. 切削するブレードが露出する部分を覆い隠すように固定します。
2. ブレードガードをスライドして動かし、対象物の幅に合わせて調節し調節レバーで固定します。



##### ③ ガイドフェンスの角度調節

### ⚠ 警告 安全のため必ず守ってください

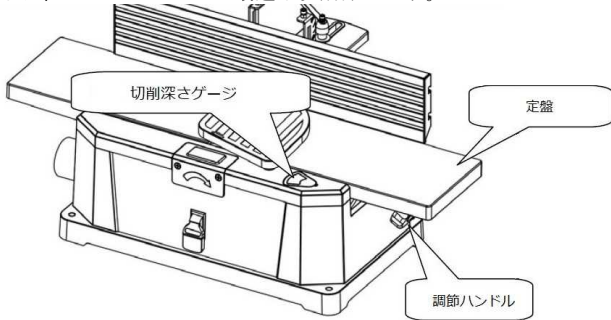
- ガイドの角度調節を行う場合は、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
- ブレードガードが切削部分を保護しているか確認してください。
- 1. 切削部分に角度をつける場合、フェンスの角度を調節してください。
- 2. フェンススライダーベースのロックハンドルとフェンスチルトロックハンドルを緩めて角度を調節してください。調節後は確実に両方のロックハンドルをしっかり締めてください。



#### ④ 切削深さの調節

### 警告 安全のため必ず守ってください

- 作業していないときは、必ず刃先をブレードガードで覆ってください。
  - 切削部分（ブレードが露出する部分）付近から距離をとって作業できるスペースを確保してください。
  - 作業中、木材を握らないでください。
  - 木材は、本体の定盤とガイドにしっかりと密着させて安全に切削してください。
1. 本製品は切削の深さを最大 3mm まで調節できます。
  2. 本体にある切削深さ調節ノブを回し、0 ~ 3mm まで深さを調節します。値は本体にあるゲージで確認できます。なお、0.5 ~ 1.5mm が最適な切削深さです。



#### ⑤ 切削加工のポイント

### 警告 安全のため必ず守ってください

- 切削の深さ調節を行う場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
  - 3mm 以上の切削は行わないでください。
1. 切削部分（ブレードが露出する部分）に対象物が触れていない状態で電源スイッチを入れます。
  2. モーターが十分回転している状態で加工を始めてください。
  3. 本製品は手前から前方へ対象物を送り切削します。
  4. 送り速度は、加工する材料や切削の深さなどの条件によって異なります。
  5. 送り速度が速すぎると、本体やブレードの損傷の原因になるだけでなく、きれいな加工面になりません。
  6. 送り速度が遅すぎると加工面が焼きつく原因になります。
  7. 一回の作業で深く切削するとモーターへの負担が大きくなると同時に、工具をうまくコントロールできない可能性があります。深く切削する場合は、数回に分けて作業してください。

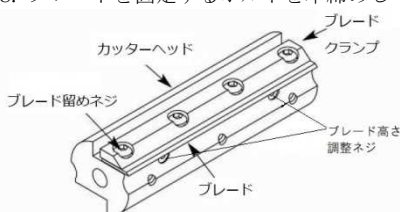
#### ⑥ ブレードの交換

### 警告 安全のため必ず守ってください

- ブレードを使用する前には、必ず刃先の点検を行ってください。刃先にひび割れまたは破損がある場合は速やかに交換してください。
- ブレードの取外し時は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。不意に作動すると大変危険です。
- ブレードは確実に取付けてください。

### 注意 安全のため必ず守ってください

- 使用直後の刃物は高温になっているため、触れないでください。
1. 本体の電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  2. ブレードガードが降りないように固定してください。
  3. ブレードとクランプを固定しているネジを外してください。
  4. ブレードとクランプをカッターヘッドから外してください。
  5. カッターヘッドとブレード、クランプに付いた粉塵や汚れをすべて取り除いてください。
  6. 交換用のブレードをクランプと一緒にカッターヘッドにボルトで仮止めします。  
(2 枚刃なのでこの作業を 2 回繰り返します)
  7. ブレードが定盤と水平になっているか確認してください。ブレード高さ調整ネジを回して調整してください。  
(2 枚刃なのでこの作業を 2 回繰り返します)
  8. ブレードを固定するボルトを本締めしてください。



#### 7、保守と点検

### 警告 安全のため必ず守ってください

- 保守・点検・部品交換をするときには、必ず電源スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。ケガや感電の原因になります。
- 保守・点検・部品交換のためにブレードガードを取外した場合必ず再度ブレードガイドを取付けてください。

#### ■ ブレードの点検

- ブレードの切れ味が悪くなった場合、早めに新品と交換してください。そのまま使用すると作業効率が下がるだけでなくモーターに負担をかけます。

#### ■ 注油と清掃

- 約 10 時間の稼働後は、下記の部分への注油をお勧めします。  
転送ローラーのベアリング  
滑車ベルトのベアリング
- 定盤の高さ調整には乾燥潤滑油を注したボルトのみを使用してください。
- 定盤の表面と転送ローラーには樹脂が付着しないようにしてください。
- 転送ローラーが汚れた場合、きれいにしてください。
- モーターが焼きつかないようにモーターの集塵ダクトにゴミが付着していないか定期的に点検してください。

#### ■ カーボンブラシの点検

- モーター用のカーボンブラシは消耗品です。過度の摩耗はモーターの故障の原因になります。
- ブラシ部分の長さが摩耗限界（残量 5mm 以下）に達した場合新品と交換してください。

#### ■ カーボンブラシの交換

- 本体下部のカバーをボルトを取外してスライドさせてください。モーター両側にあるブラシのキャップを取外し左右 2 か所を同時に交換してください。

#### ■ 各部取付ボルトの点検

- 本体各部分のボルトのゆるみがないか確認し、ゆるみがある場合は締め直してください。

#### ■ 使用後の保管について

- 適温の乾燥した場所に保管してください。
- 子供の手の届くところや、落下のおそれのあるところは避けてください。

#### ■ ブレーカースイッチについて

- 本機は、過負荷や電圧降下が起こった際にモーターを保護するためにブレーカースイッチを内蔵しております。作業中本機が急停止した場合自動でブレーカースイッチが切れている場合がございますので、スイッチを押して復帰させてください。スイッチは前面カバーを外した、スイッチボックス横にあります。ブレーカーが落ちる原因として、切削の負荷のかかりすぎもございますが、供給電源の低い場合にも起こります。たとえば線径の細い延長コードをお使いの場合やもとの電圧が低い場合などです。頻繁にブレーカーが落ちる場合は、1 度電源の確認をお願いします。

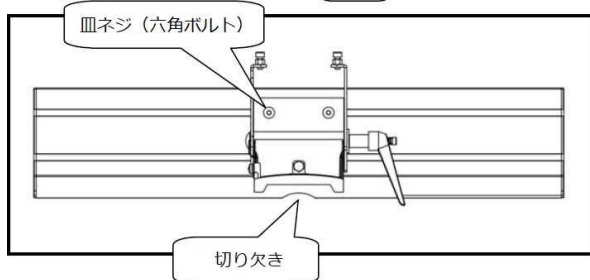
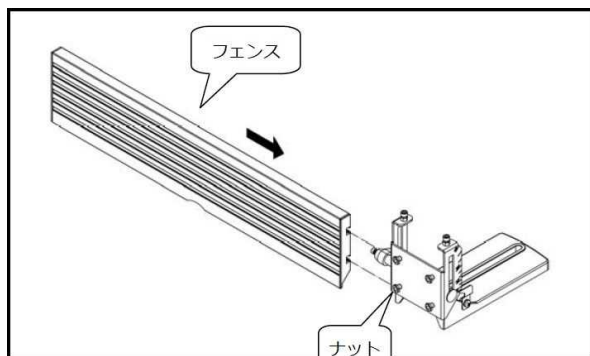
#### 8、仕様

品名	電動手押しカシナ盤 6 インチ
型式	TR-404EP
本体サイズ	幅 730× 高さ 200× 奥行き 290mm (フェンス等含まず)
本体重量	14.5 Kg
電源	AC100V (50Hz - 60Hz)
モーター出力	1,100W
ブレード回転数	10,000rpm
ブレード枚数	2枚
電源コード長さ	1.8m
最大切削幅	152mm
最大切削厚	3mm

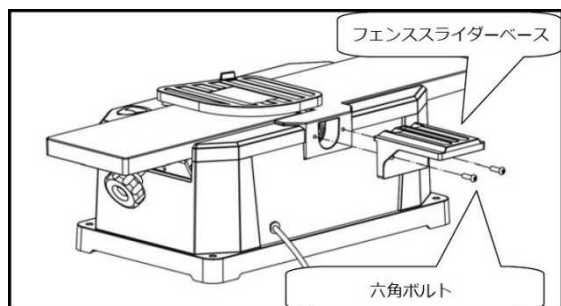
## 組み立て方

※組み立てが終わるまでは電源スイッチをオフにし  
電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

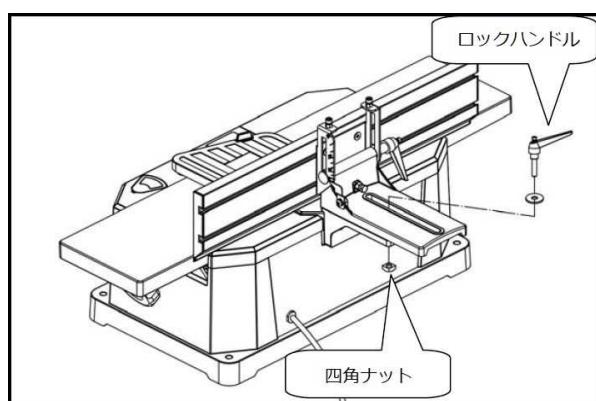
- ① フェンスをフェンスサポートに取り付けてください。  
フェンスの中心に合わせてフェンスサポートを  
固定してください。  
ナットを少し緩めておくことにより取り付けが  
しやすくなります。



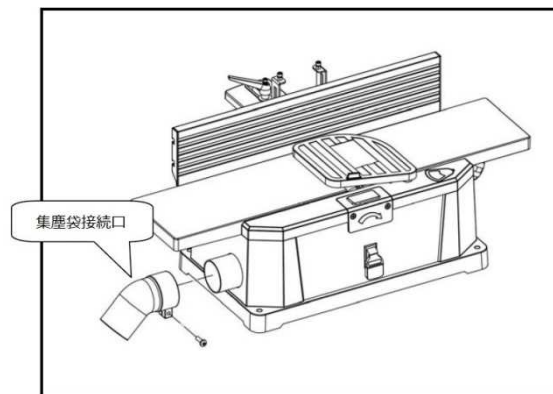
- ② 下図のようにフェンススライダーベースを  
本体に六角ボルトでしっかり固定してください。



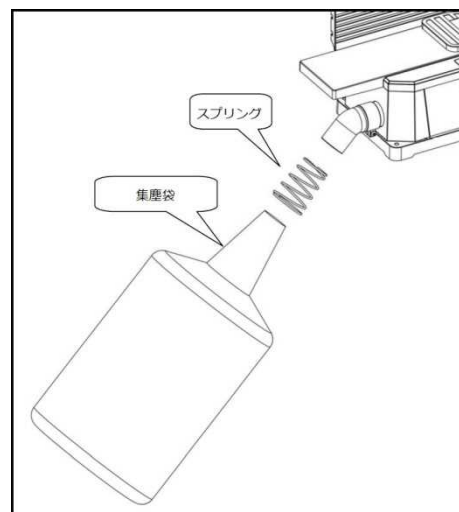
- ③ ①で用意したフェンスを②で本体に固定した  
フェンススライダーベースに取り付けてください。



- ④ 本体に集塵袋接続口を取り付けてください。



- ⑤ 集塵袋接続口に集塵袋接続用スプリング  
を使って集塵袋を取り付けてください。



## ブレード (刃) の交換

- ① ブレード留めネジを緩めてブレードと  
ブレードクランプを外してください。  
② 新しいブレードに交換して  
ブレードクランプとブレードをヘッドに  
固定してください。

※ ブレードは非常に鋭くなっていますので  
取り扱いには十分に注意してください。  
ブレードは消耗品として在庫しておりますので  
販売店までお問い合わせください。

